

# はなわ 議会だより

2013  
No.124

発行／福島県塙町議会  
平成25年11月15日



「みんなで遊ぼう学童保育」

平成25年  
9月定例会など

学童保育拡充を可決

P 2

平成24年度決算の認定

P 3

町の考えを問う

P 6

(5議員が一般質問)

議会活動

P 12

# 平成24年度決算 総額87億円を認定 早期健全化基準を下回る

平成24年度決算額 大幅減額  
でも町税は3.9%アップ↑

## 会計別決算の状況

会計	歳入	歳出
一般会計	63億5928万円	59億8437万円
特別会計		
国民健康保険	11億4585万円	11億366万円
笹原財産区	87万円	45万円
農業集落排水	1億3432万円	1億3424万円
埴林間工業団地	2071万円	1402万円
公共下水道	1億7243万円	1億7224万円
介護保険	8億1467万円	8億1150万円
後期高齢者医療	8951万円	8935万円
合計	87億3764万円	83億983万円

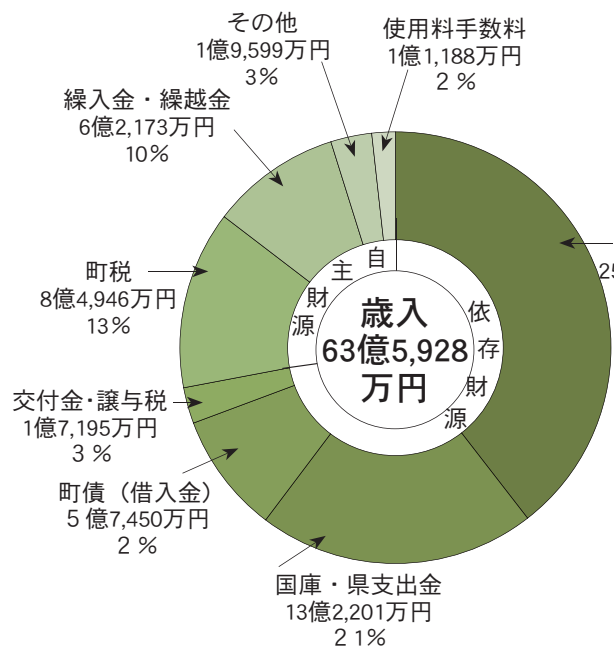
平成24年度の決算総額（一般会計、特別会計）は歳入が、87億3764万円、歳出が83億983万円となりました。

一般会計の歳入は、63億5928万円、歳出は59億8437万円。歳出額は昨年と比べ約30億円減っています。これは、地域情報通信基盤整備推進事業（IP告知電話整備・光ファイバー整備）が終了したのと老人ホームが民営化され、特別会計が廃止されたためです。

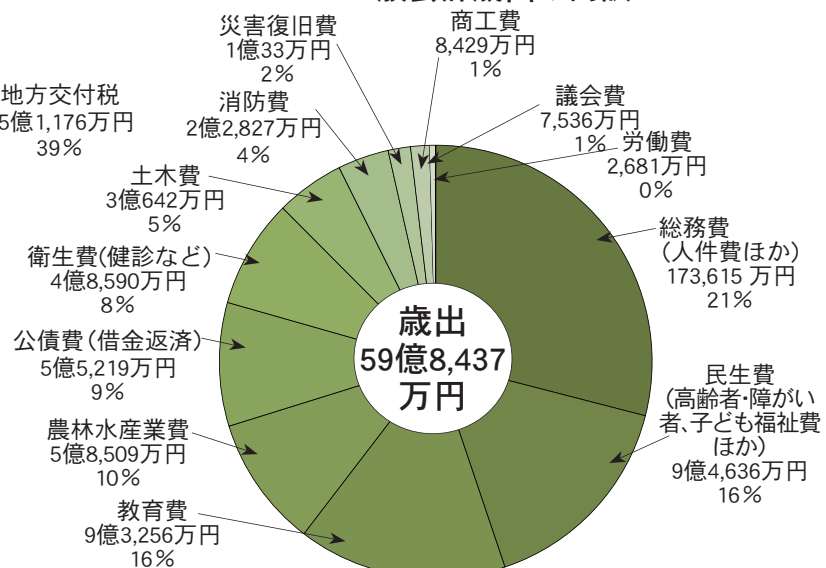
町税は、町民税の扶養控除の仕組みが変わったことにより昨年度より増加しました。

財政状況を客観的に表し、財政の健全度を示す財政健全化判断比率は、昨年度より改善し、健全化が進みました。各会計とも黒字決算となり、資金不足比率も基準を下回っています。

### 一般会計歳入の内訳



### 一般会計歳出の内訳



### 平成24年度上水道事業損益計算書から

科目	金額(千円)	備考
1. 営業収益	92,038	水道料など
2. 営業費用	175,511	運営経費・減価償却など
3. 営業外収	130,581	町補助金など
4. 営業外費	27,671	償還利息など
経常利益	19,436	
5. 特別利益	7	
6. 特別損失	1,836	過年度損益
当年度純利益	17,607	

### 財政健全化比率 (単位:%)

健全化判断比率	平成24年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	15	20
②連結実質赤字比率	—	20	35
③実質公債費比率	9.2	25	35
④将来負担比率	41.5	350	—

### 経営健全化比率 (単位:%)

特別会計名	比率	平成24年度	経営健全化基準
簡易水道	①資金不足比率	—	20.0
農業集落排水処理事業	①資金不足比率	—	20.0
公共下水道事業	①資金不足比率	—	20.0
埴林間工業団地取得造成事業	①資金不足比率	—	20.0
埴町上水道事業会計	①資金不足比率	—	20.0

\*比率欄の「—」は各会計に資金不足額がないため該当しないことを表す。

平成25年9月定例会は、9月17日から20日までの会期で開催されました。定例会では、埴町定住自立圏形成協定の議決に関する条例など町提出議案17件を審議し、全会一致で原案のとおり可決・承認し、平成24年度決算9件を認定しました。また、議員発議3件を可決しました。一般質問では、5名の議員が登壇し、木質バイオマス発電事業などについて質問しました。



年齢を越えて楽しく遊ぶ子どもたち

## 放課後児童健全育成事業(学童保育) 可決 分担金(利用料金)徴収条例の一部改正を

### 冬休み・春休み学童保育の実施について

平成25年12月24日(火)～27日(金)  
平成26年1月6日(月)～7日(火)  
平成26年3月24日(月)～31日(月) ※土日は除く

平成26年4月1日(火)～4日(金)  
冬休み期間・・・2,000円  
春休み期間・・・年度末2,000円  
・・・年度始2,000円

※春休み・冬休みは、埴・常豊・笹原合同で、台宿分館で実施する(7:40~18:00)

仕事と子育ての両立支援のため、新たに冬休みと春休み中の学童保育が実施されることに伴い、分担金徴収条例の一部が改正されました。

教育委員会では、保護者の「冬休み・春休みも学童保育を実施してほしい」との要望を受け、アンケートを実施しました。

冬休みと春休みの実施を希望する声が多数あり、冬休みから実施が決まりました。

冬休み・春休みも  
安心して働けます

# 決算審議

## 一般会計

### 質 疑

**藤田(高)** 結婚祝金給付は若者定住も目的としている。さらに効果を上げる工夫はないか。

**答弁** 1組5万円給付しているが、倍ぐらいにできないか検討する。

**小峰** 全体の不用額が2億2千万円ある。適正な予算編成により財源の有効活用を図るべき。

**答弁** 適正に管理するよう注意する。

**吉田** 一般会計歳出のうち消費税額の総額は。

**答弁** 集計していない。

**小林** 税金の未納が約3億円ある。どう考えるか。

**答弁** 今年度から滞納処分を強化し、差し押えなども積極的に進めている。徴収嘱託員を配置して徴収に努める。

**小林** 矢祭町に比べ図書館の運営費が高い。運営方法を見直す考えは。

**答弁** 施設が違うので単純比較はできない。検討が必要である。

**鈴木(幸)** 子育て関係の行事が重複している。日程調整はしているか。

**鈴木(安)** 加入率が上がっていない。加入促進の進捗状況は。

## 国民健康保険会計

**吉田** 歳出の不用額が9800万円ある。税額は適正だったのか。

**答弁** 見込額で算定する。よく精査をして予算編成をしたい。

**鈴木(安)** 加入促進が形だけになっていないか。

**答弁** 説明しながら一軒一軒訪問した。

## 農業集落排水会計

## 上水道事業会計

**鈴木(安)** 加入率が上がっていない。加入促進の進捗状況は。

**答弁** チラシの配付、未加入世帯訪問をした。加入促進組織を今年度中に立ち上げたい。

**吉田** 償還金の利率が高い。負担軽減のため借り換えできないか。

**答弁** 借り換えでも制度上負担は変わらない。

## 条例の制定

定住自立圏形成協定の議決に関する条例

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例

給施設設置条例  
施設管理を指定管理者が行えるように改正。

## 質 疑

**吉田** 東河内が地区指定になっているが。

**答弁** 企業誘致の可能性のあるところを網羅したもの。具体的なものではない。

**職員** 給与の臨時特例に関する条例

町長等10%、職員4.77・77%を10月から来年2月まで給与カットするもの。

## 質 疑

**藤田(一)** 職員の給与を下げると地域経済に与える影響や働く意欲が下がるのではないか。

**答弁** 影響は多少考えられる。意欲が下がらないようケアしていく。

## 条例の改正

農林水産物直売・食材供

## 質 疑

**藤田(二)** 集積区域とは。

**答弁** 工業団地など企業立地の可能性のある国が認可した場所。

復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例

国民健康保険税条例  
地方税法の改正による。

# 防災センター建設に5億円

# 総額11億円 補正予算可決

福祉会館の裏に建つ北庁舎が新しく生まれ変わります。北庁舎を解体し、防災センターが建設されます。防災センターは、災害が起きた時の拠点となる施設です。現在の役場庁舎は、耐震性に問題はないが、防災拠点となる耐震基準には達していません。本庁舎には、非常用電源がなく、電気配線設備・給排水設備等も全面交換の時期にきています。そのため防災機能を備えた防災センターを建設します。

## どんな施設になるの？

- ・備蓄倉庫
  - ・資機材庫
  - ・非常用電源
  - ・研修室
  - ・大会議室
  - ・重要書類保管庫
  - ・防災情報室(サーバー室)
- などの設備を備える。

- ### 今後のスケジュール
- ①防災センター測量設計委託(平成25年11月)
  - ②北庁舎解体工事(平成26年1月～3月)
  - ③防災センター建設工事(平成26年4月～平成27年3月)

(単位：千円)

会 計	補正額	補正後の額
一 般 会 計	1,085,027	6,151,264
国民健康保険特別会計	22,192	1,157,827
笹原財産区特別会計	400	3,891
公共下水道事業特別会計	3,000	182,543
介護保険特別会計	3,913	843,147
合 計	1,114,532	8,338,672

## 補正予算のあらまし

## 質 疑

**鈴木(安)** 旧高城幼稚園は売却か取り壊すのか。

**鈴木(孝)** IP告知電話の移設工事とは。

**答弁** 設置した場所が使いにくいために移設を認めることがある。50件程度見込んでいます。

**藤田(高)** 向ヶ岡公園の柵工事以外の内容は。

## 人事案件

副町長の選任

園部 秀次氏(川上)

任命に同意



人権養護委員候補者推薦  
石井 清美氏(真名畑)

適任



## 意見書

森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書  
道州制導入に断固反対する意見書  
PPP交渉に関する意見書

## 請 願

PPP交渉に関する請願  
請願者 東西しらかわ農業協同組合 代表理事組合長  
鈴木 昭雄  
鈴木 孝則  
吉田 克則  
審査結果 採択

## 工事請負契約

森林管理道整備事業林道大日向線開設工事の締結  
深谷建設株式会社  
金額4998万円



# 行政区の街路灯は負担が大きい

鈴木 茂議員

## これから負担軽減を検討する

菊池 町長



**質問**  
街路灯を順次LED化してはどうか。

**質問**  
水銀灯からLEDに替えると4〜5倍電灯が長くもつといわれるが、先に町内設置したLEDによる街路灯はどの位電気代が安くなったか。

**質問**  
街路灯は電灯交換が高額であり、行政区の負担が大きいがどのように考えるか。

**答弁**  
地域の皆さんと話し合いながら補助事業などで進めていきたい。



町内の街路灯

**質問**  
人口減少をどう考えるか  
定住人口を増やしたい

**質問**  
町の過疎化が進み、人口が将来はかなり減ると思われるが、どのように考えるか。

**質問**  
南米などの海外からの移住による定住人口増加の策もあるが、どのように考えるか。

**質問**  
町外からの定住者を受け入れるに当たっては、いろいろと問題があるが、広く意見を聞き入れて、方策を検討したい。

**質問**  
定住者の受け入れは官民タッグを組んでやる必要があると思うが、どう考えるか。



人口問題に取り組む議員

# ここがききたい一般質問

## 5 議員町の考えを問う



### 1. 鈴木 茂議員

- (1)街路灯(水銀灯)が設置されている行政区の負担軽減を
- (2)町外からの定住者受け入れに対する町の考えは

### 2. 鈴木安次議員

- (1)木質バイオマス発電事業者との交渉は
- (2)道の駅はなわの法人化でどう変わる
- (3)学校給食センターのアレルギー対策とは

### 3. 小峰由久議員

- (1)河川管理整備と川上川土砂堆積対策は
- (2)健康センター進捗状況は
- (3)埴町役場における障害者雇用はあるか

### 4. 鈴木幸江議員

- (1)地方版(埴町版)子ども、子育て会議設置の考えは
- (2)笹原財産区林野の今後の経営計画は
- (3)伊香地内の町道整備を急ぐべき

### 5. 藤田一男議員

- (1)埴町徴収嘱託員とは
- (2)鮫川村の仮設焼却炉施設の事故対応を問う
- (3)埴町木質バイオマス発電事業、凍結はいつまでか

一般質問とは議員が町の行財政全般について、町に疑問点を質問し、考えを求めるものです。

# 木質バイオマス発電事業の企業との交渉は



## 交渉はしていない

く、裏で埴町の事業者が参入できるようにするのがトップの務めではないか。

質問

木質バイオマス発電事業の相手企業と何回くらい交渉を持ったのか。

答弁

交渉を持ったことはない。

質問

なぜ交渉を持たなかったのか。

答弁

事務レベルで計画を立てただけである。予算計上もしていない段階なので交渉はしていない。

質問

表面の交渉ばかりでないか。

答弁  
交渉事は裏でやるものではないかと思っ

ている。マスコミに

すつば抜かれて水面下の交渉どころではなくなっ

てしまった。

質問

各行政区で説明会を開いたが理解は進んだと考

えているか。

質問

相手企業にも参加してもらい、具体的な説明をすべきではなかったか。

## 菊池町長

### 鈴木安次議員

「道の駅はなわ」法人化でどう変わるのか  
組織を強化できる

質問

道の駅法人化について町当局と組合員の考えに

開きがある。どのように

対処するのか。

答弁

お金の流れに誤解があり、組織にも問題がある。

組織の中で議論・検討していただき、意見を聴きたい。

質問

法人化に当たっての特区とは。



これからの林業は  
どうなるのか



安全でおいしい給食を

答弁

ふくしま産業復興投資促進特区とふくしま産業復興起業立地補助金と合わせて認められている。5年間の実質無税で町内の多くの団体が該当する。

質問

駅長の立場が大変重要になるか。

答弁

理事長が最高の責任者であり、駅長一人で責任を持つということはない。各部門の強化や全体で発展することを考えている。

質問

学校給食のアレルギー対策とは

全体で情報を共有

答弁

米飯が週4回になってコストがかかり、おかずの質、味に影響はないか。

質問

健康センター進展は  
推進協議会を設置

健康センター整備の進捗状況は。

質問

健康センター整備の進捗状況は。

答弁

推進協議会を設置し、基本構想策定業務を委託する予定である。

老人の預かり施設と健康センター、福祉ゾーンのような施設を考えている。

質問

勉強会を立ち上げ、提言していきたいが。

答弁

ぜひ参考にしたい。

役場での障害者雇用は  
現在、募集中

現在、募集中

質問

埴町役場で障害者の雇用はあるのか。

答弁

現在はいない。ハローワークを通じ、募集している。

質問

募集等の積極的周知が必要と思うが。

答弁

あらゆる機会を通じて周知したい。

答弁（教育長）

米飯は若干高いが、食後の感想では8割以上はおいしいと言っている。

質問

アレルギー対策はどのようにしているか。

答弁

アレルギー除去食や代替食を準備し、各学校の養護教諭、担任さらに全体で情報を共有し、危機感を持って対策を講じている。

質問

エビペンの使い方の講習会等、埴生病院とタイアップしていく必要があるのではないか。

答弁

埴生病院の医師とも連携し万全の対策をとる。

※エビペン

重度なアレルギー反応があらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）

# 川上川の土砂堆積対策は

## 緊急性の高いところから実施したい



### 小峰由久議員

### 菊池町長

質問

台風18号の被害状況を伺う。

答弁

田畑の被害は調査中である。通行止め路線はない。

質問

川上川の土砂堆積対策と管理者（県）への働きかけは。

答弁

川上地区の区長から陳情があり、予算確保を働きかけている。

緊急性の高いところから実施したいと回答があった。



川上川の土砂

# 子ども・子育て会議設置の考えは

## 設置に向け検討している

質問

法律では、「子ども・子育て会議」の設置を求めているが、埴町版「子ども・子育て会議」の考え方と進捗状況を伺う。

答弁

子ども・子育て関連3法案による事業、ニーズ調査委託料を補正予算として計上した。設置に向け検討している。

質問

ニーズ調査は子育て会議を設立し、会議の中で的確にニーズを把握し、

事業計画を策定するものと認識している。委託調査という考えで進めていくのか。

事業計画を策定するものと認識している。委託調査という考えで進めていくのか。

答弁（教育長）

少子化が進む中で、子育て支援活動者等様々な意見を聞きながら、連携し、国・県の指導を仰ぎ、将来の子ども・子育て支

援事業に関わっていく。

※「子ども・子育て会議」とは  
子育て支援当事者等（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）が、子育て支援の政策プロセス等に参画・関与することができるとする仕組み



子どもたちの未来のために

# 鈴木幸江議員

## 菊池町長

質問

管理委託契約期間が残すところ3年。今後の経営計画を伺う。

答弁

全伐後の管理、林業の衰退、後継者不足、悪循環をたどっている。今後、真剣に議論しなければならぬ。

質問

規則では契約期間は50年を超えることができないとある、しかし、契約更新も可とされている。現時点での考えは。

答弁

伐期を迎えるが評価額が出なければ前に進めない。

# 行き止まり道路の解消を

## 早急に進めたい

質問

伊香地内の高齢者施設に今後、通り抜けできる道路を作る計画は。

答弁

町道に格上げし、改良してきた。振興計画に載せたので調査をし、地権者の同意を得、早急に進めたい。



行き止まりの町道

# 木質バイオマス発電の凍結はいつまでか

## 近いうちに判断する

# 藤田一男議員

## 菊池町長

質問

埴町木質バイオマス発電事業の凍結はいつまでか。

答弁

現時点では凍結である。県と相談して近々のうちに判断をしなければならぬ。

質問

この事業を凍結すると決めたがいつまで凍結するのか。

答弁

環境省の施設の事故で凍結を決めたが、事業には賛否がある。その判断のための凍結である。補助事業なので県と協議して決定したい。



質問

各地区での説明会で、どの程度理解された考えるか。

答弁

説明会参加者の7割前後が反対のようだ。

質問

当面は凍結とのことだが白紙にするのか再開するのか伺う。

答弁

今の段階では凍結である。関係者と協議を重ねている。

質問

埴町徴収嘱託員の募集状況は、2名の応募があった。

答弁

埴町徴収嘱託員の募集状況は、2名の募集に2名の応募があった。

質問

業務内容は、5万円以内の少額滞納者、主に現年度分の滞納者を対象に戸別訪問による徴収、電話による納付の勧奨、口座振替促進のためのチラシの配付などである。

答弁

職員が行う。現在、広域的な滞納整理の組織化を進めており、来年4月からスタートすべく準備を進めている。

質問

高額滞納者の場合はどうするのか。

答弁

守秘義務等の指導は、臨時職員も法により守秘義務は課せられる。採用時に十分説明している。

質問

鮫川村の事故で町の対応は、現場確認とIP告知電話で周知

答弁

鮫川村の仮設焼却炉施設の事故について町の対応は、現場確認とIP告知電話で周知



IP告知電話で周知

# 議会活動を報告します

## 日本一の議会に学ぶ「議会改革」

## 先進地に学ぶ 山形県西川町・庄内町 岩手県西和賀町

もに財政の勉強会を開いて、町財政への監視機能を高め、最終的には町民と議員が作った財政白書、みんなで確かめよう我が町の家計簿を発行するなど素晴らしい議会であった。

## 減り続ける人口をどうするか

近年、社会問題になっている少子高齢化は我が町として例外ではなく、他町村並みに推移していると思われる。人口問題は、国策ではあるが、戦時中は産めよ増やせよ、終戦直後のベビーブーム、昭和40年代頃からの産児制限時代と移行し、現在の少子化時代に至っている。議会でもこの対策として専門の先生を呼んで勉強し、常陸太田市まで出てきたところである。

## インターネット 中継導入に向けて

議会では、町民の皆様方に開かれた議会運営を目指し議会改革の課題を取り上げ様々な検討をしている。その一つとして「議会映像中継放送」を考えている。

議会開催等の内容は現在「議会だより」でお知らせしている。議会傍聴のほか議事録は図書館等で閲覧できるが、より議会情報を発信するためにインターネット等を通じ「議会映像中継放送」が出来ないかを検討しているところである。

定例会・臨時会での議案審議、一般質問における町長答弁等の映像中継放送を通じて町民の方に議会に対する関心をより高めていただき町発展につなげていきたい考えである。

### 第7回臨時会 米山橋の改良工事契約締結

平成25年8月12日、第7回臨時会が開催され、町道塙台宿線米山橋補修工事契約が成立した。

契約先 深谷建設株式会社  
契約金額 6千363万円

米山橋車道部の主桁補修工事と、歩道の防護柵取り替え工事



10月4日(金)、「意見交換会」が塙町木質バイオマス発電問題連絡会の皆さんと行われた。議会で組織した「木質バイオマス発電事業調査特別委員会」の内容・経過等について、議会への要望などが話し合われた。

9月20日、本会議終了後の全員協議会で町長より、木質バイオマス発電事業中止の説明があった。議員からは「今後の林業振興の対策はどうするか」「新たな事業を推進すべき」等の意見があった。

# 追跡レポート

## ～ 一般質問のその後 ～

定例会で行われた一般質問の中からピックアップしその後の動き、現在の状況を調査しました。

### 新たなイノシシ対策始まる

平成24年度は、電気柵設置事業を3地区で行った。また、猟友会が中心となって132頭を駆除した。平成25年度も15団体が電気柵設置事業を利用している。

これまでもイノシシの被害対策として、シシバイバイ(LEDの装置、目の高さに吊すと、作物に近寄らない。電気柵に比べると低コストで設置が簡単)の貸し出しを行ってきた。

平成25年度の新規事業として、イノシシ被害防止フェンス設置事業補助金を導入した。資材費は町が補助し、管理や設置は実施団体が行う。

イノシシの被害や防止策の相談はまち振興課(電話43-2118)まで。



真名畑地区に設置されたイノシシ被害防止フェンス

### イノシシ対策への取り組みは

#### 質問

イノシシの被害が町内全域に拡大している。対策は今のよう状況か。

#### 答弁

駆除期間の通年制、区長経由の駆除申請手続きの検討や防護ネット補助、スピード感のある対応、耕作放棄地対策も急務である。(平成24年9月定例会)

### 議会だより

#### モニターさんの声

議会だよりの文字色(緑)変更について

- ・ピンクより見やすい。
- ・やわらかさがあり、読みやすい。
- ・その度に色を変えるのもよい。

用語の説明※について

・難しい言葉に※で説明してあるのは良い。

議員の活動報告について

・議員の仕事が多いことがわかった。

・議会以外の活動がわかった。

グループ紹介

・見出しがついて見やすくなった。

・写真は一枚の方がよい。

そのほかの意見

・議会中継は必要である。

・議会に足を運んでもらえる努力をすべき。

・特集は、もっと詳しく内容を載せた方がよい。

#### 広報常任委員会より

ご意見ありがとうございます。今後の編集に生かします。

## 議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおおむね10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局(Tel 43-2150)をお願いします。

広報常任委員が、団体(サークルなど)を訪問して活動内容を皆さんにお知らせします。

**団体の名称：エイサー太鼓愛好会**  
 練習場所：常豊公民館 連絡先：藤田 洋子さん 電話43-1457

力強い踊りで  
 明るく元気にいい汗かいています



エイサー太鼓愛好会の皆さん

太鼓の音と「はいいや」という掛け声が聞こえてきそうな元気な「エイサー太鼓愛好会」の皆さん。  
 活動歴は12～13年。仕事を通じての仲間で、仕事の集まりの時に沖縄の先生のエイサー太鼓を見

午後、隔週で練習しており、月に1回は茨城県から先生を招き練習。今後もっとレパートリーを増やしたいとのこと。  
 来年6月には、埴町公民館で復興イベントの発表会を予定しており、エイサー太鼓だけでなく、

て、その素晴らしい・迫力に感動し、結成されました。踊りの勉強に出向き、海外や日本各地で踊っているそうです。また、ボランティアで介護施設や幼稚園で踊りを披露しています。初めての舞台はなんと埴町産業祭です。金曜日の夜と土曜日の

沖繩空手の演舞も行われます。代表の藤田洋子さんは、「エイサー太鼓は音楽と踊りで元気になります。イベント等で踊って盛り上げますので、興味のある方はご連絡ください。復興イベントもぜひ見てください」とのことでした。  
 皆さんの元氣と、威勢のいい太鼓・掛け声に元氣をいただきました。遠く離れた沖縄の文化に埴町で触れられるなんて素敵ですね。



産業祭にて、ポーズが決まっています

## 編集後記

9月定例会も終わった10月1日、常陸太田市と大洗町に議会研修に行ってきました。常陸太田市での研修課題は、今、全国的に問題になっている「少子化・人口減少問題」です。  
 20・30代の若者の出会いの場の設定づくりから始まって若者が魅力を感じる街づくりをきめ細やかに設定して、良い結果を生んでいくようです。  
 9月定例会でも放課後の子どもたちの学童保育の充実が図られ、今まで実施されなかった春休み・冬休みも実施されるようになり、子育て中の皆さんには、多少のゆとりができるのではないのでしょうか。  
 小貫 初枝

## 議会傍聴においでください

次回の定例会は、12月13日(予定)に開かれます。議場は役場庁舎の二階西側にあります。  
 住所・氏名の記入等簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

※議会会議録は、図書館・議会事務局、またはホームページでもご覧になれます。

### 広報常任委員会

委員長	鈴木 幸	江則枝 次
副委員長	吉田 克	初枝 安
委員	小貫 初	
委員	鈴木 安	

発行所 埴町議会議員 鈴木 道男  
 編集 議会広報常任委員会

〒963-5492 福島県東白川郡埴町大字埴字大町三丁目21  
 TEL:0247-43-2150 FAX:0247-43-2116

URL: <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>  
 E-mail: [gikai@town.hanawa.fukushima.jp](mailto:gikai@town.hanawa.fukushima.jp)